

## 京都市鏡山保育所の民間移管について

京都市営保育所については「京都市はぐくみプラン（京都市子ども・若者総合計画）」において、公としての役割について不断の検証を行い、民間移管に取り組むこととしています。

この度、令和 2 年 1 0 月 2 0 日に社会福祉法人京都社会福祉協会（以下「事業者」という。）から、京都市に対して、民間移管に係る提案書の提出があり、提案内容等を総合的に検討した結果、京都市鏡山保育所の民間移管に取り組むこととしましたので、御報告いたします。

### 1 提案内容（提案書は別紙のとおり。）

- (1) 事業者は鏡山保育所の近隣（直線距離約 8 0 m）に乳児保育園である山科保育園を運営しているが、園舎の老朽化が著しく、建替え又は大規模改修が必要な状況である。
- (2) 山科保育園を含む山科 2 提供区域は、「第 2 期京都市子ども・子育て支援事業計画」によると保育需要が見込まれており、園舎の建替え又は大規模改修を機に、就学前までの保育の継続性や保護者の利便性を踏まえ、定員増を伴う乳幼併設保育園とすることが望ましいと考える。  
しかし、現山科保育園の園舎敷地が狭隘であるため、乳幼併設保育園化での建替えは困難な状況である。
- (3) 近隣の鏡山保育所は、幼児保育所として設置され、乳児保育所の山科保育園とは、密接に連携して運営されてきた経過もある。平成 2 6 年に鏡山保育所は乳幼併設保育所化されたが、現在も山科保育園の卒園児の多くが鏡山保育所に通っている。
- (4) これらの状況を踏まえ、距離的に極めて近く互いに連携してきた両保育園を、これを機に運営主体や施設面において一体化することにより、就学前までの一貫した保育の継続性や保護者の利便性、園舎整備による保育環境などが改善され、地域の子どもたちや保護者にとって大いにプラスになる。
- (5) 上記を進めるに当たり、以下の点について検討をお願いする。
  - ア 鏡山保育所の民間移管を受けさせていただきたい。  
（平成 2 9 年度に京都市錦林保育所の民間移管を受けた実績があり、市営保育所の民間移管の意義・手順を理解している。）
  - イ 移管後に、鏡山保育所敷地を活用し、両保育園を一体化させ定員増を図った乳幼併設保育園の新園舎を整備すること

## 2 本市の方針

待機児童対策，京都市鏡山保育所の老朽化対策及び民間移管に伴う財政効果が見込まれることから，提案内容を踏まえ，京都市鏡山保育所の民間移管に取り組む。

## 3 移管先法人等の募集

事業者からの提案を踏まえ，広く移管先法人等の募集を行うこととし，京都市はぐくみ推進審議会児童福祉分科会市営保育所移管先選定部会において募集要項の審議を行い，京都市が募集要項を策定し，募集を行う。

## 4 民間移管の実施時期

令和5年4月（予定）

（参考）

名称	所在地	定員
京都市鏡山保育所	京都市山科区厨子奥苗代元町16-5	90名
山科保育園	京都市山科区厨子奥苗代元町31	50名

令和2年10月20日

京都市長 門川大作 様

社会福祉法人 京都社会福祉協会  
理事長 今井豊嗣「第2期京都市子ども・子育て支援事業計画」に掲げる  
山科2提供区域における保育環境の充実について（提案・お願い）

平素は当協会に対し格別のご支援・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当協会では山科区厨子奥において山科保育園（定員：乳児50名）の運営を行っておりますが、当保育園は木造平屋構造で老朽化が著しいため、その施設整備について検討を進めております。しかし、当該保育園の在り方（現行は0歳～2歳の「乳児」園）や用地確保、また、当該エリアにおける入園希望者の増加予測への対応（定員増）など、種々検討すべき課題がある状況となっております。

この山科保育園は、昭和42年に民営の「乳児」保育園として設立され、その後、昭和60年から当協会が運営を引き継ぎ現在に至っております。一方、近隣には京都市営の鏡山保育所（直線距離で約80m）が「幼児」保育所として設置されていたこともあって、この2ヶ園（所）は事実上一体的に連携を保って運営されていた経過があります。この市営鏡山保育所は、平成26年度からは乳幼併設保育所となりましたが、現在でも山科保育園の卒園児の大半はこの保育所に受け入れをいただいている状況にあります。しかし、この鏡山保育所の園舎も築45年を経過し経年老朽化が見受けられるところです。

このような状況の中、今般、当協会の山科保育園の整備を検討するに当たり、これを機に両保育園（所）について運営主体や施設面において一体（合体）化して運営することができれば、保育の継続性や保護者の利便性、また、園舎の施設環境が大きく改善されるのではないかと考えるところであります。

そこで、京都市においては、この間、市営保育所の民間移管を積極的に進めておられますが、市営「鏡山保育所」についても民間移管の対象として検討をいただくことができれば、当協会として下記の内容を実現し、子育て支援をはじめとした京都市政に寄与できると考えるものでございます。

これにつきましてよろしくご検討をいただき、ご支援をいただきますようお願い申し上げます。



1 提案・お願いの趣旨（内容）

- 当協会の運営する山科保育園（定員：乳児50名）は、木造平屋構造で老朽化が著しく、建替え又は施設の大規模改修が必要な状況にある。
- これを実施するに際して、学齢期までの保育の継続性や保護者の利便性などを踏まえると、これを機に「乳幼併設保育園化」を図ることが望ましい。また、当該エリアにおける今後の保育需要を踏まえると、「第2期京都市子ども・子育て支援事業計画」に掲げられる保育ニーズへの対応への寄与も期待される場所である。そして、これらを総合的に勘案すると「定員増を伴った乳幼併設保育園化による園舎建替え」が望ましいと考えられる。しかし、現山科保育園敷地は狭隘で、この内容を踏まえた敷地内での建替えは事実上困難であり、近隣での用地確保が必要となっている。
- 一方、山科保育園の近隣（直線距離約80m）には市営鏡山保育所が存立しているが、この鏡山保育所は歴史的には「幼児」保育所として設置されてきたこともあって、「乳児」保育園の山科保育園とは、これまで密接な連携を保って、事実上一体となって運営されてきた経過がある。この鏡山保育所は、平成26年に乳幼併設保育所化されたが、現在においても山科保育園の卒園児の多くが鏡山保育所で受け入れをいただいている状況にある。
- これらの状況を踏まえ、距離的に極めて近く歴史的にも互いに連携してきた両保育園（所）について、これを機に運営主体や施設面において一体（合体）化した上で、定員拡大や園舎整備ができれば、学齢期までの一貫した保育の継続性や保護者の利便性、また、園舎整備による保育環境などが改善され、地域の子どもたちや保護者にとって大いにプラスになると思慮される。
- 上記の考えを進めるに当たって、次について配慮をお願いしたい。
  - ①当協会山科保育園について、「定員拡大」を伴った「乳幼併設保育園化」を行う。
  - ②これを前提に、市営鏡山保育所について「当協会への民間移管」を受けさせていただきたい。その上で、移管後に、鏡山保育所敷地を活用して両保育園（所）を一体（合体）化させ、定員増を図った新園舎を整備して一つの保育園（乳幼併設保育園）として再出発する。（整備完了目途：令和6年度末。）
  - ③一体（合体）化後の保育園は、これまでの山科保育園・鏡山保育所の保育水準を維持継続したものとする。

※ 当協会は、保育園22園、児童館17館を運営する社会福祉法人であり、保育の質の確保に常に意を払っており、必要な体制の確保をはじめ、安定的で適正な施設運営に配慮しつつ運営を行っています。

※ 当協会は平成29年度に市営錦林保育所について民間移管を受けた実績を有しており、公営保育所の民間移管の意義・手順などについての理解を踏まえております。その上で本提案・お願いを行うものです。

## 2 上記1の提案・お願いに際しての要望

○市営鏡山保育所について、当協会への民間移管を積極的に検討いただきたい。移管の際の諸条件については、これまでの前例に沿った内容で検討いただきたい。

## 3 市民生活、京都市財政等に対して期待できる効果

○山科保育園利用者について、「乳幼併設保育園化」が図られ、学齢期まで見通した保育の継続性や保護者の利便性などが改善されるとともに、園舎整備により「保育環境の改善」が図られる。

○鏡山保育所利用者について、当協会による新園舎整備により、築45年を経過している保育園舎の「保育環境の改善」が図られる。

○第2期京都市子ども・子育て支援事業計画の「山科2」提供区域における「保育必要量の確保」に資するものとなる。

○鏡山保育所の民間移管により、「運営経費について市財政負担の軽減」が予測されるとともに、近い将来に必然となる当該保育所の「建替えについても市財政負担の軽減」が図られる。

○両保育園（所）の一体（合体）化により、「同一地域の近隣に保育園（所）が並び立つ状況を避ける」ことができる。